

日本心エコー図学会教育委員会
地方における小規模講習会に関する報告

2018/07/31

教育委員会では、若手医師・技師への心エコー図学の普及・啓蒙に努めるため、帯広市で研修医向けの心エコーハンズオンセミナーを開催したので報告する。

1) 概略は以下の通り

講習会名： 「第 19 回 HGCU 主催研修医向け心エコーハンズオンセミナー」
企画・主催： 北海道心血管エコー研究会（HGCU）
後援： 日本心エコー図学会 教育委員会
事務担当： 北海道社会事業協会帯広病院（略称：帯広協会病院）
日時： 2018 年 7 月 21 日（土） 13：55～18：20
会場： 北海道社会事業協会帯広病院 3 階 講堂
対象： 初期研修医、後期研修医
参加者数： 26 名（定員 20 名に対し 28 名の応募あり。2 名事前キャンセル）
参加者内訳： 初期研修医 1 年目 12 名、同 2 年目 14 名
内容： 初心者を対象とした心エコー図法の講義とハンズオン
エコー装置： 5 台（うち 2 台を下記エコーメーカー 1 社のご厚意により無料貸し出し）
装置貸与協力： 株式会社 日立製作所
被験者： 健常者 5 名

2) 収支について

本講習会は、収入を参加者からの受講料のみとした独立採算制をとった。

3) プログラム

参加者を 5 グループに分け、1 グループは 6 人、他の 4 グループは 5 人体勢とした。前半はまず断層法と M モード法および探触子の操作方法の講義を行い、それに伴ったハンズオンを行った。後半ではドプラ法と下大静脈観察についての講義をした上で、その後に 2 クール目のハンズオンとした。ハンズオンは 1 人あたり 15 分とし、6 人のグループではハンズオン各 90 分、他の 4 グループでは各 75 分とり、受講者が実際に操作する時間を十分にとれるよう配慮した。

4) 指導者について

講義およびハンズオンは日本超音波医学会専門医・指導医を含む医師 2 名、日本超音波医学会認定技師 3 名が担当した。

5) アンケートについて

アンケート調査は行っていない。しかし受講者からの意見・質問を促しており、受け付け先としてハンズオン担当事務局代表のメールアドレスを公開している。

6) まとめ

HGCU が毎年企画し開催している研修医向け心エコーハンズオンセミナーは今回で第 19 回を迎えた。夏期は地方（函館市、旭川市、帯広市）で開催、冬期は札幌市において継続して行っているセミナーであり今回は帯広市開催であった。過去の帯広市開催では定員 20 名、4 グループで行ってきっていたが、今年は定員数を大幅に上回ったため急遽、超音波診断装置 5 台で対応することにした。参加者は全て初期研修医（1 年目、2 年目）であり、開催継続の結果により本セミナーが北海道の研修医に浸透してきていることを実感した。今後も HGCU が本セミナーを継続することは重要と考え、心エコー図法の魅力を伝える意義は大きいと思われる。最後に、本セミナーが日本心エコー図学会 教育委員会より後援をいただいたことに深く感謝申し上げます。

文責：北海道社会事業協会帯広病院 臨床検査科 福西 雅俊